

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆栄養学演習	4年次	必修	演習	1単位（30時間）	真島 和徳 ※
授 業 概 要					
公衆栄養学分野における、医学および保健医療に直接的、間接的に関係する最新のトピックスを取り入れ、白書や邦文のみでなく、英文専門雑誌にも触れながら、演習形式で実施する。					
到 達 目 標					
公衆栄養学分野における学んできた内容を系統的に整理し、体系立てて理解できる。 EBNの観点から管理栄養士としての必要な知的能力、技術的技能を身につける。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	公衆栄養学概要と公衆栄養学活動				真島 和徳 ※
2	健康・栄養問題の現状と課題（人口問題、少子高齢化、健康寿命、有病率）				
3	健康・栄養問題の現状と課題（食事・食生活の変遷）				
4	健康・栄養問題の現状と課題（食料需給表、食料自給率）				
5	健康・栄養問題の現状と課題（国民健康・栄養調査）				
6	栄養政策と関連法規（栄養士法、行政栄養士）				
7	栄養政策と関連法規（健康増進法と健康日本21（二次））				
8	栄養政策と関連法規（健康増進法と国民健康・栄養調査）				
9	栄養政策と関連法規（特定健診・特定保健指導）				
10	栄養政策と関連法規（食育基本法と食育推進計画）				
11	栄養政策と指針、ツール（食生活指針、食事バランスガイド等）				
12	栄養疫学の概要				
13	栄養疫学における調査方法と評価、統計と栄養情報処理				
14	公衆栄養学マネジメント（社会調査、既存資料の活用）				
15	公衆栄養学プログラム（計画・実施・評価） まとめ				
学 習 方 法					
事前学習：公衆栄養学の教科書や配布資料に目を通すこと。 最新の話題となるトピックスの論文の検索を、邦文学会誌をはじめ英文専門誌も活用すること。 事後学習：受講後まとめを行い、苦手分野を補強する。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 欠席・遅刻、早退が極力ないことが望ましい。 科目終了試験を行い、合格判定は60点以上とする。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔参考書〕 管理栄養士養成課程「栄養管理と生命科学シリーズ」公衆栄養学の科学（理工図書） 日本人の食事摂取基準（2015年版）（第一出版） わかりやすいEBNと栄養疫学（佐々木敏：同文書院） 公衆栄養学ワークブック（株みらい） 国民健康・栄養調査の報告（健康・栄養情報研究会編：第一出版）  国民衛生の動向（厚生統計協会） よくわかる統計学<介護福祉・栄養管理データ編>（蘆志和、広田直子、石村貞夫：東京図書）等					